

琉球大学学術リポジトリ

調査回答書：南洋廳

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2018-04-16 キーワード (Ja): 矢内原忠雄 キーワード (En): Yanaihara Tadao 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/37986

矢内原忠雄文庫

史料名	南洋廳による回答「南洋群島々民教育ニ関スル調書」
封筒番号	47
原文所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成18年5月30日
撮影者	富士写真フイルム株式会社
備考	

矢内原忠雄文庫

封筒番号：47

史料名	南洋廳による回答「南洋群島々民教育ニ関スル調書」
資料形態	B4
枚数	2
页数	2
縦 (cm)	
横 (cm)	
厚さ (cm)	
書誌的事項	南洋 矢内原送付の質問書 今泉分類記号：N

南洋群島々民教育に関する質問書

南洋廳

質問事項

一 修身科

- 1. 主たる訓育の目的は何か
- 2. 特に団体觀念の養成に努めらるることありや
- 3. 特に風習の改善に努めらるることありや

二 國語科

- 1. 教授用語は島民語を用ひることありや
- 2. 國語は各島民相互間の共通語として發達しつゝありと認めらるるか
- 3. 三年級の學習に日用と便するに不足せざるか

三 算術科

- 1. 在來島民は如何ほど之の教を教へ得るか
- 2. 度量衡を教授するか

四 島民は如何なる學科を好むし如何なる學科に不適ふりと認めらるるか

五 島民に好學心向上心が認めらるるか

六 島民は教育により知能發達して文明人に到達する見込ありと認めらるるか

七 助教員は如何なる仕事と担当するか

八 島民生徒の年齢最高最低、平均如何

九 島民の就學は自發的なりや又は官の奨勵に出づるか

十 島民語の文字化、文藝辭典の編纂等は行はれずや

答

一 修身科

- 1. 徳性・涵養
- 2. 我國之精神精華ハ之ヲ説明スルニ殊更養成ニ努カレセ
- 3. 凡器ノ改善ハ適宜ニ漸次ニ之ヲ為シマアリ

二 國語科

- 1. 低学年ニミテフルコトアリ
- 2. 認め
- 3. 日用ヲ便スルニ不足セズ

三 算術科

- 1. 島ニ依リ或ハ外人ニ接スル機會ノ多寡カニヨリ一様ナラサレドモ百進法ハ得テ善匠トモリ教育ヲ施サルル最切ヨリ教授セリ
- 2. 島ニ依リ一様ナラサレドモ一般ニ度量衡ニ適シ知識方面ニ適セ

四 大イニアリト認め

五 簡單ニ判定シ難キ問題ナレドモ相互長キ年月ノ後ニハ或ハ可成ナヘン

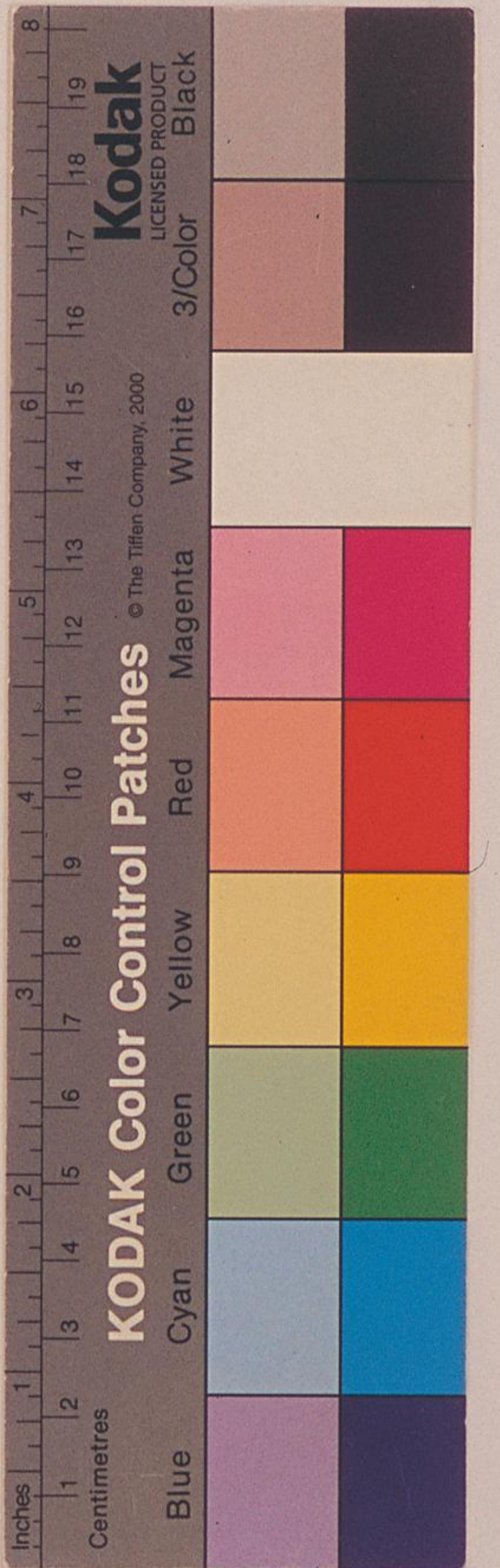
六 教授訓育ノ助手ヲナス

七 昭和五年後ノ方

本所	最高	最低	平均
一八	一八	一三	一三
神戶	二〇	一三	一三
備考	最高年齢漸次進下ノ位アリ		

八 初期ハ主トシテ進歩ニ依ルモノトスルモ現在ハ自發的ノ状態ナリ

九 戦況迄前チマモ羅カナカテ中クサイ島民ニシテ島民ノ言語ノ之ニ就テ行ハルリ之典辭典ノ編纂ヲナシタルモノアリ



島民教育に関する質問(第二)

質問 事 項

- 一 島民は學校を如何なる程度に尊重するか
- 二 島民生徒の出席は規則正しきや、出席を促がす為めには如何なる方法によるや
- 三 半途退學者ほどの位あるか(入學者に對する率)
- 四 島民児童の能力は邦人又は歐人に比し如何 又女生徒の能力は男生徒に比し如何
- 五 島民児童の勤勉、従順、品行の状況如何
- 六 公學校及補習學校卒業程度に於て學習する知識の程度如何
- 七 學習する知識が卒業後に於ける利用状況如何 又非就學島民に比して生活上如何なる相違を示すか

答

一 教會と同程度に尊重す

二 正し。特別の方法を用ふる(母手)

三 最近三年の公學校卒業生に對し

手別入學者	退學者	入學者百對
八三三	一〇	二五〇
七九四	一三六	一六〇
八四六	一三三	一三〇

四 邦人児童(認人児童と同程度)に比し身体四肢ヲ用ふる能力ニ於て優り頭腦ヲ用ふる力ニ於て劣り(自)女男女多クノ差アリ

五 公學校及補習學校ハ滿八歳ノ児童ヲ入ルルモノハ略等ニシテ、神學科ハ年々ニ増シテ、程度ニ至ラズ

七 卒業生ハ文明人ト接觸ニ理解アリ、又自己ノ生活ニ外事文化ヲ取リテハトス、又所謂「物利」早シ

親子セザル者ハ田舎ヲ留守ニ且ツ若シテ迷信的ナリ

矢内原忠雄文庫

史料名	南洋廳による回答「南洋群島々民教育ニ関スル調書」
封筒番号	47
原文所所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成17年11月8日
撮影者	富士写真フイルム 株式会社
備考	

矢内原忠雄文庫

封筒番号：47

史料名	南洋廳による回答「南洋群島々民教育ニ関スル調書」
資料形態	B4
枚数	2
頁数	2
縦 (cm)	
横 (cm)	
厚さ (cm)	
書誌的事項	南洋 矢内原送付の質問書 今泉分類記号：N

43-7
296

南洋群島々民教育に関する質問書

南洋廳

質問事項

一 修身科

1. 主たる訓育の目的は何か
2. 特に國體觀念の養成に努めらるることありや
3. 特に風習の改善に努めらるることありや

二 國語科

1. 教授用語は島民語を用ふことありや
2. 國語は各島民相互間の共通語として發達しつ
3. 三ヶ年の學習に日用を便するに不足せぶるか

三 算術科

1. 在來島民は如何ほど迄の数を教へ得るか
2. 度量衡を教授するか
3. 島民は如何なる算學に適し如何なる算學に不適ふりと認めらるるか

4. 島民に好學心向上心が認めらるるか
5. 島民は教育により知能發達して文明人に到達する見込ありと認めらるるか
6. 助教員は如何なる仕事を担当するか
7. 島民生徒の年齢最高最低平均如何
8. 島民の就學は自發的ふりや又は官の奨励に出づるか
9. 島民語の文字化、文典、辞典の編纂等は行はれず居るか

答

一 修身科

1. 徳性/涵養
2. 我國の偉人精華ハ之ヲ説明スルニ詳更養成ニ努カヒマス
3. 凡思ノ改善ハ適志ニ漸之ヲ為シテアリ

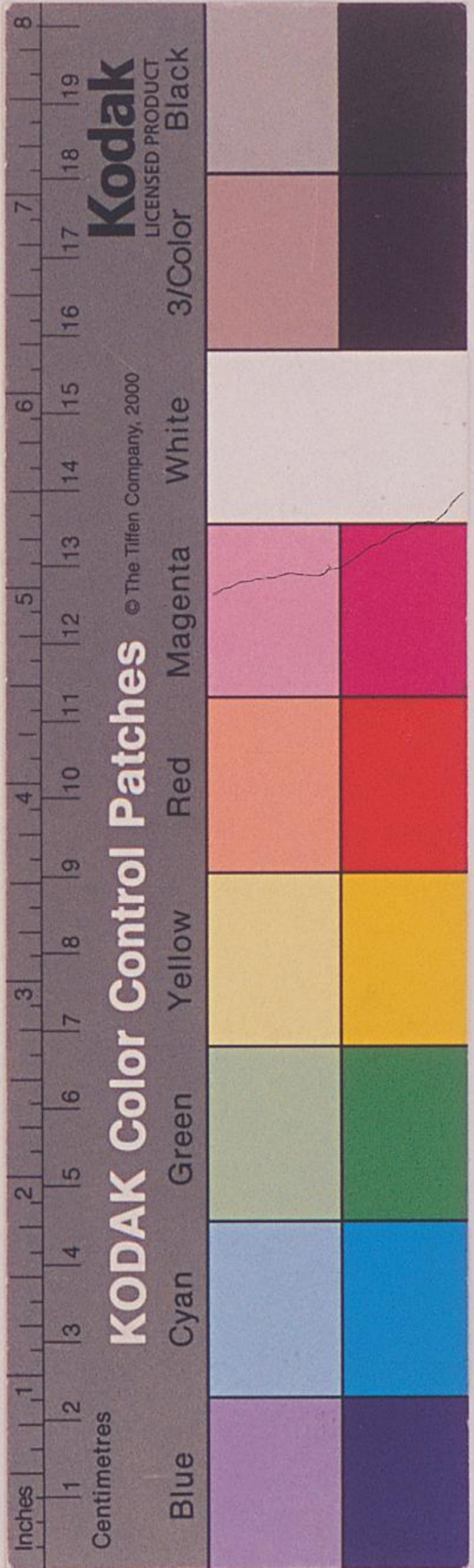
二 國語科

1. 低学年ニ之ヲ用フルコトアリ
2. 認ム
3. 日用ヲ便スルニ不足セズ

三 算術科

1. 算ニ依リ或ハ指ハニ扱スル概算ノ多ク算カニヨリ一様ナラザレドモ百進教ヘ得テ其進歩アリ
2. 教員ヲ依リテ最初ヨリ教授セリ
3. 島ニ依リ一様ナラザレドモ一般ニ度量方尺ニ適シ知識方尺ニ適セス
4. 大イニアリト認ム

5. 簡單ニ判定シ種々問題ナレドモ相互長キ年月ノ後ニハ或ハウ教ヘル
6. 教授訓育ノ助手ヲナス
7. 昭和五年後ノ方
本科 最年 平均
神學科 一八 一ニ
備考 最年 平均 最年 平均
一八 一ニ 一八 一ニ
8. 初期ハ主トシテ遊藝ニ依ルモノ多ク現存ハ自發的ノ状態ナリ
9. 我流法前チヤモロ語、カナガ族中クサイ島民、ミールヤル島民ノ言語ノ之々ニ別テ行ハリ之典辞典ノ編纂ヲナシタルモノアリ



島民教育に関する質問(第二)

質問 事項 頂

答

一 島民は學校を如何なる程度に尊重するか

一 教会上同程度に尊重す

二 島民生徒の出席は規則正しきや 出席を促かす為めには如何なる方法によらば

二 正し 特別ノ方法ヲ用フルノ事ナシ
 最近三年間公学校各科入退學者比率
 年別入學者 退學者 入退學者比率
 昭和 八三三 四九五 二五〇%
 二五 七九四 一三六 二六%
 二六 八四六 一三三 一三%
 昭和 八四六 一三三 一三%

三 半途退學者はどの位あるか(入學者に對する率)

四 邦人児童(即ち児童と同様ニ)ニ比シ身體四肢ヲ用テ能力ニシテ優リ頭腦ヲ用フル方者ノ能力劣ル而シテ邦人ニ比シ持久力乏セルト認メラルル者男女多クノ差ナシ

四 島民児童の能力は邦人又は歐人に比して如何 又女生徒の能力は男生徒に比して如何

六 公学校及補習学校卒業程度に於て學習ノ知識ノ程度如何

五 島民児童の勤勉、従順、品行の状況如何

七 卒業生ハ文明人トノ接觸ニ理解アリ男メテ自己ノ生活ニ外來文化ヲ取りテトス又所謂「物利」早シ
 孰モセザル者ハ田舎ヲ留守ニ且ソ著シノ迷信ナリ

六 公学校及補習学校卒業程度に於て學習ノ知識ノ程度如何

六 公学校及補習学校ハ滿八歳ノ児童ヲ入ルルニシテ略等ニ程度ニ至ルニ至ラ

七 島民児童の勤勉、従順、品行の状況如何

七 卒業生ハ文明人トノ接觸ニ理解アリ男メテ自己ノ生活ニ外來文化ヲ取りテトス又所謂「物利」早シ
 孰モセザル者ハ田舎ヲ留守ニ且ソ著シノ迷信ナリ

八 島民児童の勤勉、従順、品行の状況如何

七 卒業生ハ文明人トノ接觸ニ理解アリ男メテ自己ノ生活ニ外來文化ヲ取りテトス又所謂「物利」早シ
 孰モセザル者ハ田舎ヲ留守ニ且ソ著シノ迷信ナリ

九 島民児童の勤勉、従順、品行の状況如何

七 卒業生ハ文明人トノ接觸ニ理解アリ男メテ自己ノ生活ニ外來文化ヲ取りテトス又所謂「物利」早シ
 孰モセザル者ハ田舎ヲ留守ニ且ソ著シノ迷信ナリ

十 島民児童の勤勉、従順、品行の状況如何

七 卒業生ハ文明人トノ接觸ニ理解アリ男メテ自己ノ生活ニ外來文化ヲ取りテトス又所謂「物利」早シ
 孰モセザル者ハ田舎ヲ留守ニ且ソ著シノ迷信ナリ

十一 島民児童の勤勉、従順、品行の状況如何

七 卒業生ハ文明人トノ接觸ニ理解アリ男メテ自己ノ生活ニ外來文化ヲ取りテトス又所謂「物利」早シ
 孰モセザル者ハ田舎ヲ留守ニ且ソ著シノ迷信ナリ

十二 島民児童の勤勉、従順、品行の状況如何

七 卒業生ハ文明人トノ接觸ニ理解アリ男メテ自己ノ生活ニ外來文化ヲ取りテトス又所謂「物利」早シ
 孰モセザル者ハ田舎ヲ留守ニ且ソ著シノ迷信ナリ

十三 島民児童の勤勉、従順、品行の状況如何

七 卒業生ハ文明人トノ接觸ニ理解アリ男メテ自己ノ生活ニ外來文化ヲ取りテトス又所謂「物利」早シ
 孰モセザル者ハ田舎ヲ留守ニ且ソ著シノ迷信ナリ

十四 島民児童の勤勉、従順、品行の状況如何

七 卒業生ハ文明人トノ接觸ニ理解アリ男メテ自己ノ生活ニ外來文化ヲ取りテトス又所謂「物利」早シ
 孰モセザル者ハ田舎ヲ留守ニ且ソ著シノ迷信ナリ

十五 島民児童の勤勉、従順、品行の状況如何

七 卒業生ハ文明人トノ接觸ニ理解アリ男メテ自己ノ生活ニ外來文化ヲ取りテトス又所謂「物利」早シ
 孰モセザル者ハ田舎ヲ留守ニ且ソ著シノ迷信ナリ

十六 島民児童の勤勉、従順、品行の状況如何

七 卒業生ハ文明人トノ接觸ニ理解アリ男メテ自己ノ生活ニ外來文化ヲ取りテトス又所謂「物利」早シ
 孰モセザル者ハ田舎ヲ留守ニ且ソ著シノ迷信ナリ

十七 島民児童の勤勉、従順、品行の状況如何

七 卒業生ハ文明人トノ接觸ニ理解アリ男メテ自己ノ生活ニ外來文化ヲ取りテトス又所謂「物利」早シ
 孰モセザル者ハ田舎ヲ留守ニ且ソ著シノ迷信ナリ

十八 島民児童の勤勉、従順、品行の状況如何

七 卒業生ハ文明人トノ接觸ニ理解アリ男メテ自己ノ生活ニ外來文化ヲ取りテトス又所謂「物利」早シ
 孰モセザル者ハ田舎ヲ留守ニ且ソ著シノ迷信ナリ

十九 島民児童の勤勉、従順、品行の状況如何

七 卒業生ハ文明人トノ接觸ニ理解アリ男メテ自己ノ生活ニ外來文化ヲ取りテトス又所謂「物利」早シ
 孰モセザル者ハ田舎ヲ留守ニ且ソ著シノ迷信ナリ

二十 島民児童の勤勉、従順、品行の状況如何

七 卒業生ハ文明人トノ接觸ニ理解アリ男メテ自己ノ生活ニ外來文化ヲ取りテトス又所謂「物利」早シ
 孰モセザル者ハ田舎ヲ留守ニ且ソ著シノ迷信ナリ

二十一 島民児童の勤勉、従順、品行の状況如何

七 卒業生ハ文明人トノ接觸ニ理解アリ男メテ自己ノ生活ニ外來文化ヲ取りテトス又所謂「物利」早シ
 孰モセザル者ハ田舎ヲ留守ニ且ソ著シノ迷信ナリ

二十二 島民児童の勤勉、従順、品行の状況如何

七 卒業生ハ文明人トノ接觸ニ理解アリ男メテ自己ノ生活ニ外來文化ヲ取りテトス又所謂「物利」早シ
 孰モセザル者ハ田舎ヲ留守ニ且ソ著シノ迷信ナリ

二十三 島民児童の勤勉、従順、品行の状況如何

七 卒業生ハ文明人トノ接觸ニ理解アリ男メテ自己ノ生活ニ外來文化ヲ取りテトス又所謂「物利」早シ
 孰モセザル者ハ田舎ヲ留守ニ且ソ著シノ迷信ナリ

二十四 島民児童の勤勉、従順、品行の状況如何

七 卒業生ハ文明人トノ接觸ニ理解アリ男メテ自己ノ生活ニ外來文化ヲ取りテトス又所謂「物利」早シ
 孰モセザル者ハ田舎ヲ留守ニ且ソ著シノ迷信ナリ

二十五 島民児童の勤勉、従順、品行の状況如何

七 卒業生ハ文明人トノ接觸ニ理解アリ男メテ自己ノ生活ニ外來文化ヲ取りテトス又所謂「物利」早シ
 孰モセザル者ハ田舎ヲ留守ニ且ソ著シノ迷信ナリ

二十六 島民児童の勤勉、従順、品行の状況如何

七 卒業生ハ文明人トノ接觸ニ理解アリ男メテ自己ノ生活ニ外來文化ヲ取りテトス又所謂「物利」早シ
 孰モセザル者ハ田舎ヲ留守ニ且ソ著シノ迷信ナリ

二十七 島民児童の勤勉、従順、品行の状況如何

七 卒業生ハ文明人トノ接觸ニ理解アリ男メテ自己ノ生活ニ外來文化ヲ取りテトス又所謂「物利」早シ
 孰モセザル者ハ田舎ヲ留守ニ且ソ著シノ迷信ナリ

二十八 島民児童の勤勉、従順、品行の状況如何

七 卒業生ハ文明人トノ接觸ニ理解アリ男メテ自己ノ生活ニ外來文化ヲ取りテトス又所謂「物利」早シ
 孰モセザル者ハ田舎ヲ留守ニ且ソ著シノ迷信ナリ

二十九 島民児童の勤勉、従順、品行の状況如何

七 卒業生ハ文明人トノ接觸ニ理解アリ男メテ自己ノ生活ニ外來文化ヲ取りテトス又所謂「物利」早シ
 孰モセザル者ハ田舎ヲ留守ニ且ソ著シノ迷信ナリ

三十 島民児童の勤勉、従順、品行の状況如何

七 卒業生ハ文明人トノ接觸ニ理解アリ男メテ自己ノ生活ニ外來文化ヲ取りテトス又所謂「物利」早シ
 孰モセザル者ハ田舎ヲ留守ニ且ソ著シノ迷信ナリ

三十一 島民児童の勤勉、従順、品行の状況如何

七 卒業生ハ文明人トノ接觸ニ理解アリ男メテ自己ノ生活ニ外來文化ヲ取りテトス又所謂「物利」早シ
 孰モセザル者ハ田舎ヲ留守ニ且ソ著シノ迷信ナリ

三十二 島民児童の勤勉、従順、品行の状況如何

七 卒業生ハ文明人トノ接觸ニ理解アリ男メテ自己ノ生活ニ外來文化ヲ取りテトス又所謂「物利」早シ
 孰モセザル者ハ田舎ヲ留守ニ且ソ著シノ迷信ナリ

三十三 島民児童の勤勉、従順、品行の状況如何

七 卒業生ハ文明人トノ接觸ニ理解アリ男メテ自己ノ生活ニ外來文化ヲ取りテトス又所謂「物利」早シ
 孰モセザル者ハ田舎ヲ留守ニ且ソ著シノ迷信ナリ

三十四 島民児童の勤勉、従順、品行の状況如何

七 卒業生ハ文明人トノ接觸ニ理解アリ男メテ自己ノ生活ニ外來文化ヲ取りテトス又所謂「物利」早シ
 孰モセザル者ハ田舎ヲ留守ニ且ソ著シノ迷信ナリ

三十五 島民児童の勤勉、従順、品行の状況如何

七 卒業生ハ文明人トノ接觸ニ理解アリ男メテ自己ノ生活ニ外來文化ヲ取りテトス又所謂「物利」早シ
 孰モセザル者ハ田舎ヲ留守ニ且ソ著シノ迷信ナリ

三十六 島民児童の勤勉、従順、品行の状況如何

七 卒業生ハ文明人トノ接觸ニ理解アリ男メテ自己ノ生活ニ外來文化ヲ取りテトス又所謂「物利」早シ
 孰モセザル者ハ田舎ヲ留守ニ且ソ著シノ迷信ナリ